

スキマタイムズ

もっとお互いを理解するための場や時間を

✿ 日本自立生活センター自立支援事業所 2023年9月26日発行 第150号

サー・ロバート・マーチンさんと仲間たち交流会 ～知的障害のある人たちの地域生活や権利擁護について語り合う～

「脱施設」を進めるため、知的障害者として初めて「国連障害者権利委員会」の委員となったサー・ロバート・マーチンさんが来日されます。また、カナダやスウェーデンのピープルファーストで先進的に活動されてきた当事者や支援者の方も合わせて来られます。

海外ゲストの来日にあわせて、ここ京都でも、知的障害者の地域生活、権利擁護、意思決定支援などをテーマとして語り合い、課題を共有し、今後につなげていく場をもちたいと思います（通訳あり）。茶の湯のお茶を出す時間ももちたいと思っています。後半には、パーティ形式で簡単な飲食もご用意いたします。

- 日時：2023年10月15日（日）15：30～20：00
- 場所：同志社大学新町キャンパス臨光館 204号室（京都市営地下鉄今出川駅から徒歩10分。「同志社大学 臨光館」で検索してください。）
- 参加費：1500円（飲食費・通訳代等込み）
- 参加申込・問い合わせ：渡邊まで ※締切：10月6日（木）

主催（呼びかけ団体、呼びかけ人）：日本自立生活センター、ピープルファースト京都、廣野俊輔（同志社大学）、鈴木良（同志社大学）、京都市居宅介護事業等連絡協議会他



Sir Robert Martin（サー・ロバート・マーチン）〈支援者 Cindy Johns〉
66歳、男性、知的障害者、ニュージーランド
国連の障害者権利委員会で初めての知的障害者として委員に選ばれました。
知的障害当事者運動の世界のリーダーです。



ゲスト詳細

Kory Earle（コーリー・アール）〈支援者 Helley Fletcher〉

37歳、男性、知的障害者 ピープルファーストカナダの代表を長年務め、
カナダの脱施設を積極的に進めました。



Emily Muthén（エミリー・ムティエン）〈支援者 Anders Bergstrom〉

42歳、女性、知的障害者、スウェーデングリーンデン協会所属で活発に活動しています。
福祉サービルや放送局などを当事者が代表となり運営している団体です。

第7回 卓球バレー

★日時：10月5日（木）13：00～16：00

★スタジアム：多文化交流ネットワークサロン

初めての方でも楽しめる♪月初めのお楽しみ、第7回目の卓球バレー開催です。広々とした場所なので、大きい車いすに乗っている方でも問題なく参加できます。お好きな時間に来て、無理せずお好きな時間に帰ってもらって結構です。みなさんのご参加お待ちしております!!（担当：野瀬、宇田）



日本自立生活センター自立支援事業所 編集担当：岡山・春木

TEL：075-682-7950 E-mail：jcil-kyoto@jcil.jp URL http://www.jcil.jp/zigyosho/index.html

職員自己紹介

- ①なまえ ② JCIL との関わりはいつから？
③ きっかけは？ ④ どんな仕事をしていますか？
⑤ 大切にしていること・これからしたいこと



- ① 川村 功一（かわむら こういち）
② 15年ぐらい前
③ 当時、JCIL で働いていた友達が、障害当事者の方と寝食を共にするキャンプがあると教えてくれて、何か面白そうかもと参加したこと
④ 介助
⑤ 大切にしていること：利用者さんの声に全力で耳を傾ける
これからしたいこと：自分ができる仕事を、一生懸命やりきる

なじよすっぺ!



さすけねえ～
ちかげさ聞いてみっぺ

「だいじょうぶ～
ちかげにきいてみよう」

↓ちかげ



のコーナー

今回は秋の常備菜をひとつご紹介、『きのこ』のレシピです！

そのままご飯にのせたり、納豆や豆腐、サラダにのせたりして食べると美味しいですよ～

【手作りなめ茸】

- <材料>※分量はカレーを食べる時のスプーン
えのきだけ1袋→2cmくらいに切る
みりん→スプーン2杯
しょうゆ→スプーン3杯（味をみて加減する）
かつおぶし→袋ごともんで粉状にする



<作り方>※鍋はきっちり閉まる蓋のあるもので

- ① 切ったえのきだけを鍋に入れる
② 鍋にみりんとしょうゆを入れて蓋をしてとろ火で煮る
③ 水は入れないので焦げないように気をつけて 10分くらい水分が残るように煮たら、粉にしたかつおぶしをひとつまみ入れて火を止める。

※きれいな蓋つきの容器に入れておくと3～4日は持ちます！多めに作っておくと便利です。

※残ったかつおぶし粉は味噌汁や煮物に使って。顆粒だしの素より美味しいですよ！



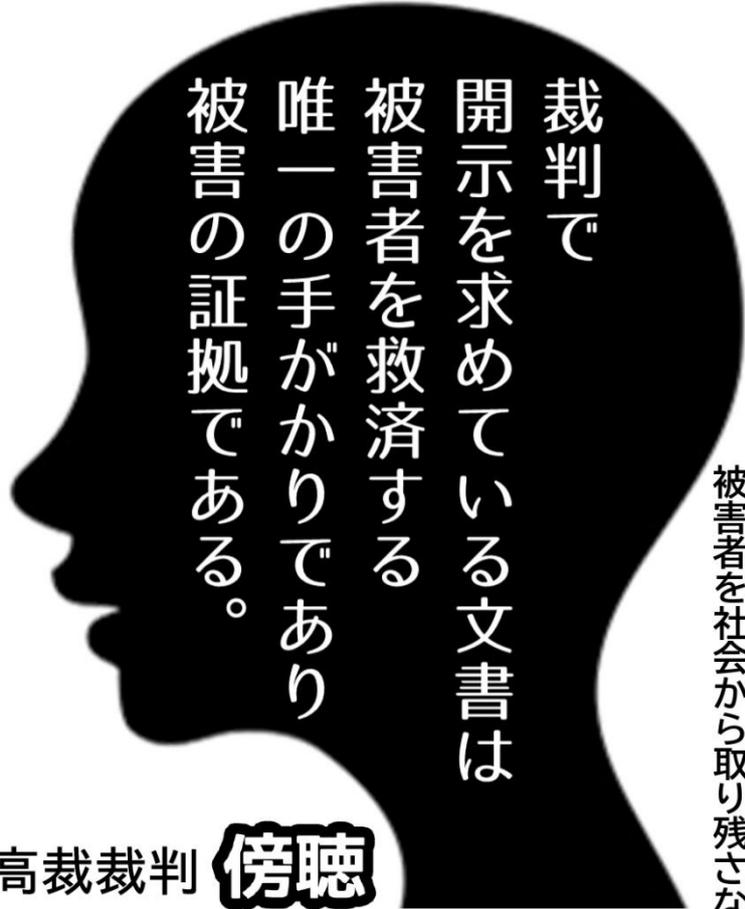
滋賀県旧優生保護法 情報公開請求訴訟

2023年10月11日(水) 11:30開廷
大阪高等裁判所本館202号法廷

大阪高裁での裁判が
始まります。
第2ラウンド開始！
一人でも多くの方、
傍聴のご協力をお願い
します。 香田

旧優生保護法という国が主導した悲惨で残酷な
人権侵害の事実を「なかったこと」にさせない。

被害者を社会から取り残さない。



裁判で
開示を求めている文書は
被害者を救済する
唯一の手がかりであり
被害の証拠である。

旧優生保護法の問題の本質に迫る裁判を見逃すな。

大阪高裁裁判 **傍聴**
へのご協力をお願いします。

※車いすで傍聴ご希望の方は席に限りがあり
ますので事前にお問い合わせください。

※傍聴希望者が多い場合は抽選になります。
十時半までにお越しください。
裁判所に入る際に手荷物検査があります。

報告会の開催



大阪高裁での傍聴終了後に、
近隣の大阪弁護士会館902号室で報告会を開催します。
弁護団からの裁判内容の説明、原告の思い、支援者からの発言などです。
参加予定の方は、お申込みをお願いします。



報告会はオンラインでも配信を行います。
参加に必要なURLをお送りしますので、
お名前とメールアドレスを記入の上、お申し込みください。



報告会のサポートボランティアを募集しています。
ご協力をお願いします！詳細はお問合せくださいませ。

#奮ってご参加ください！
#当日の参加も大歓迎！

申し込み先/問い合わせ

村田恵子 ☎ 090-8886-9377 ✉ miyabi-kyotojapan@docomo.ne.jp

第31回

東九条마당마ダン (ひろば)



JCIL で担当している「車いす体験コーナー」は毎年恒例の企画です。マダンに来たら一度は体験してもらいたい！
加えて今回は、パネル展示で「卓球バレー」の奥深さ・面白さをみなさんにお伝えします。下林

JR・京都市営地下鉄京都駅から南東へ徒歩5分、京都市バス「京都駅八条口アバンティ前」バス停すぐ

東九条マダンとは

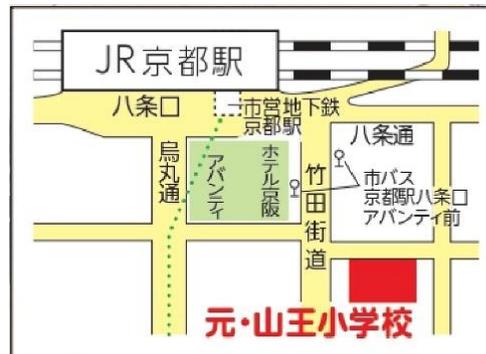
東九条マダンは、1993年に多くの在日韓国・朝鮮人と日本人が共に暮らすまち、京都市南区東九条で地域のまつりとなることを目指して始まりました。様々な立場、ルーツ、心身の状態、そしていろいろな思いを持つ人々が、違いを受け入れながら、ありのままの自分を表現し、新しい自分を見つけていく場。そんな“みんなのまつり”を毎年つくり続けています。マダン마당とは、「ひろば」という意味です。

プログラム紹介

和太鼓&サムルノリ…朝鮮半島の打楽器の音と和太鼓の音が、ぶつかり合い、溶け合い、響き合って新たな音楽世界を創りだす、東九条マダンを代表する演目。

ブンムルノリ…朝鮮半島の打楽器を奏でながら踊る東九条マダンの花形演目。

マダン劇…第1回東九条マダンから欠かすことなく演じられてきたマダン劇に、今年もこうご期待！



宣伝コーナーのお知らせ

～みなさんの個展、展示会、舞台、発表会などを宣伝しませんか？～

利用者、介助者のみなさん、それぞれ個性的な活動をされている方がおられます。個展を開く人、発表会で演奏する人、演劇をする人、踊る人 etc. そんなみなさんの活動を宣伝するスペースを設けます。要項は以下の通りです。



内容：個展、展示会、舞台、発表会、出店、書籍や小冊子の出版のお知らせ

※日時、場所、入場料等、明記してください

ご自身の作品や出演に限ります。(宗教・政治活動に関するものはご遠慮ください)

サイズ：A4の4分の1程度（サイズは内容等に応じて相談させてください。印刷時にB5に縮小しますので、文字ポイントは11ptぐらいを目安でお願いいたします。）

締切：毎月5日までにお送りいただけたら、月末発行号に掲載可能です。

その他：スペースの都合などで掲載できない場合があることをご了承ください。

お一人一年に1、2回程度までとさせていただきます。

まずはお気軽に（岡山・金・小泉・春木・渡邊）までご相談ください。

連絡先：事業所メールアドレス jcil-kyoto@jcil.jp 件名：宣伝コーナー